

事務事業名	県医師会参画事業		所属部局	保健福祉部		単位番号	5320	
			所属課室	健康増進課		課長名	桜田 正文	
	☐ 実施計画事業		所属担当	健康企画		担当者名	斉藤 一恵	
基本政策	基本計画体系	IV 快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目
政策	18	健康づくりの推進	事業区分	01	一般	0	4	0
施策	31	保健・医療の推進						
事業期間	☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始年度 年度) 期間限定複数年度 (年度)	法令根拠		法令外審議会				
事業の内容…期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 事業の概要 医療従事者の育成に関する事業、医療従事者の資質の向上に関する事業、医療技術の研究に関する事業、医療情報の提供に関する事業、医療相談に関する事業、保健指導に関する事業、公衆衛生指導に関する事業、県・市町村医療制度の推進に関する事業	事業費の主な内訳 (22年度)							
	項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)				
	負担金補助及び交付金	2,111						
			計		2,111			

1 現状把握 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
22年度活動実績	法令外負担金として
23年度活動予定	法令外負担金として
② 対象 (この事務事業は誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	
医師会	
③ 意図 (この事務事業により対象をどのような状態にしていのか、どのように変えるのか)	
健康増進の推進	
④ 上位目的 (どのような結果に結び付けるのか)	
専門的知識の活用	

⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	法令外負担金	円
⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	運営費	円
⑦ 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒		
⑧ 上位成果指標 (結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒		

(2) 事業費・指標の推移		単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円		2,111	2,119	2,119	2,119	
	事業費計 (A)		千円	0	2,111	2,119	2,119	2,119	0
	人件費	正規職員従事人数	人		1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間		3	3	3	3	
		人件費計 (B)	千円	0	13	12	12	12	0
	(A)+(B)		千円	0	2,124	2,131	2,131	2,131	0
活動指標		アイウ	円	2,111.0	2,111.0	2,111.0	2,111.0	2,111.0	
対象指標		アイウ	円	2,111.0	2,111.0	2,111.0	2,111.0	2,111.0	
成果指標		アイウ							
上位成果指標		アイ							

(3) この事務事業を取り巻く状況 (対象者・社会状況等) の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたか?	高齢者という特に支援を要する年齢層を対象とする特定の事業に焦点を当て、その取り組みに対し支援した
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	少子化、生活習慣病の若年化、介護予防に重点を置いた施策転換、医療ニーズの多様化や医療技術の高度化等、保健・医療を取り巻く環境が変化していること「老人保健法」がH20年4月から「高齢者の医療の確保に関する法律」に改められたこと等、特定の年齢層にとらわれない取り組みが必要
③ 事務事業に対して関係者 (市民、事業対象者、議会等) からどんな意見・要望が寄せられているか?	

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	☐ 取り組みしている ⇒ [内容↓] ☐ 取り組みしていない ⇒ [理由↓]
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過 (取り組みしていない場合はその理由)	
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	なし

事務事業名	県医師会参画事業	所属部	保健福祉部	所属課	健康増進課
-------	----------	-----	-------	-----	-------

2 評価 (Check1) 担当者による事後評価 (複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない (見直し余地がある) ⇒ [理由 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒ [理由 ↓]
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒ [理由 ↓] 県との連携のため公共関与は妥当である
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒ [理由 ↓] 対象が県医師会なので妥当である
有効性 評価	④ 成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☒ 向上余地がある ⇒ [理由 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 向上余地がない ⇒ [理由 ↓] 医療費の抑制
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒ (類似する事務事業の名称を記入 ↓) ☒ 統合・連携ができる ⇒ [理由と具体案 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 統合・連携ができない ⇒ [理由 ↓] 県歯科医師会と統合
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒ [理由と影響の内容 ↓] 県医師会との連携 ☐ 休止・廃止ができる ☐ 休止・廃止できない ⇒ [理由 ↓]
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費 (コスト) を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☒ 削減余地がある ⇒ [理由・具体案 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 削減余地がない ⇒ [理由 ↓] 医療費等を取り巻く環境の変化によりコストの削減を検討
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？ (事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒ [理由・具体案 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由 ↓] 法令外負担金のみのため
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由・具体案 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒ [理由 ↓] 医療従事者の資質及び育成の向上に繋がる

3 評価 (Check2) 担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括 (事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③ 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	医療従事者の育成、資質の向上や保健指導、公衆衛生の冠する事業、市町村医療制度の推進など事業をおこなっているにで市町村としても必要である。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性 (Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携 (有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善 (公平性⑨の結果) ☐ 休止 (目的妥当性①、②、③の結果) ☒ 成果向上 (有効性④の結果) ☒ 現状維持 (全評価項目で適切) ☐ 必要性検討 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減 (効率性⑦、⑧の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☒</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☐</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☒	☐	維持	☐	☐		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☒	☐																				
	維持	☐	☐																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について																								
①																								
②																								
③																								
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策		(5) 事務事業優先度評価結果																						
①		成果優先度評価結果	対象外																					
②																								
③		コスト削減優先度評価結果	対象外																					